

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年8月5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490101148		
法人名	メディカル・ケア・サービス関西株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム広島矢野西		
所在地	広島県広島市安芸区矢野西1-3-20 (電話) 082-889-5350		
自己評価作成日	令和4年7月6日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490101148-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490101148-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年7月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

愛の家の運営理念である心を込めたサービスの提供、個別支援、地域との共生をもとに、ホームとして、利用者様のしたいことや夢を叶えるグループホームを目指し日々のケアに当たっています。ホーム周辺には神社や公園、コンビニやドラッグストアと社会資源がそろっており防疫対策をしっかりと行いながら、外出を行っております。ホーム裏にある神社でお参りをしたり、公園や神社の清掃活動に参加し、地域とのつながりも大切にしています。
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者本位のケアで、一人ひとりの人生が豊かになるよう支援している。日常的に、近くの神社に散歩に出かけ、ごみ拾いを行い地域の一員として交流できるよう取り組んでいる。事業所の全国スケールメリットを活かし、成功事例のノウハウを共有し、質の高いケアに取り組んでいる。認知症の行動には何らかの理由があると、認知症の周辺症状を考慮し、理解した職員によるきめ細かな支援が行われている。利用者の意向、できることを尊重し、人のために役立つ喜びを感じてもらえる取り組みをしている。美味しい食事、楽しいイベントなどで、笑顔が日々見られるよう工夫している。畑仕事を取り入れ、作物を育て、収穫し、食べる喜びを感じられる支援が行われている。利用者の日常生活もお便りや写真でたびたび届けられ、家族との信頼関係も築かれている。
---

自己評価	外部評価	項 目（ ユニット 虹 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念・事業所の目標を事務所に掲示し、日々のケア・支援実践に繋げ毎朝の朝礼で唱和を行い、全職員で共有、各職員が理念を達成できるよう実践している。	入社時に事業所本部より理念に基づくケアの研修がある。朝夕時に理念の3本柱の確認を行い、日々のケアに活かすことで実践につなげている。やってあげる介護ではなく、利用者の潜在能力を活かして自立支援を手伝わせていただく介護として職員に理念が共有され実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	10月より対面での運営推進会議を再開。ご訪問された地域の民生委員の方々や運営推進会議への参加者へ、認知症指導者研修を修了した副ホーム長によるプチ講座を実施して地域の方々の認知症への理解を深める取り組みをしている。	利用者が散歩時に、近くの神社のごみ拾い、清掃を行い、地域の人に感謝の言葉をもらうなど地域の住民として受け入れられ、日常的に交流している。畑で収穫したジャガイモを近所におすそ分け、地域からは花を届けてもらうなど地域と良好な関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍外出の頻度は減っているが、近隣のスーパーや事業所のすぐ前にあるコンビニに防疫対策を行ったうえで、お買い物に行っている。入所前から食べていたパンを予約して購入していただくなど、自宅に住まわれていた時の生活習慣を大切に支援させていた		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍、運営推進会議にて行われていた事業所での取り組みの報告は、書面にてご報告させていただき郵送、電話にてご意見をいただきサービスの向上につなげていきたい。	利用者が以前家で楽しんでいた畑仕事をさせてあげたいと家族から要望が出た。土を耕し水やりを日々行い、ジャガイモなど収穫でき、利用者の生活に生き甲斐が生まれるようになっていく。さらに車いすでも作業ができる工夫をし、一人ひとりの人生が豊かで質の高い生活の取り組みとなっている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	コロナ禍、6月8月の運営推進会議は書面での報告でしたが、議事録を作成してホームの毎月のお便りと一緒に提出いたしました。また、相談や質問があると電話か直接出向いていき担当者と話をするなど、良好な関係を築いている。	運営推進会議に参加の地域包括支援センターから、地域の情報の提供や、集会や研修への誘いがあり日ごろから良好な関係を築いている。	

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的な研修を行っており、身体的な拘束だけでなく言葉や薬なども拘束にあたることを日々話し合っています。又、不適切なケアについても注力しており随時研修・スタッフによるチェックシートでの確認等、定期的に行い身体拘束防止委員会を発足し、不適切ケア・身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束チェックシートで、不適切なケアはないか振り返りを行い、拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。知らないで行っている身体拘束がないか、事例検討し身体拘束防止に努めている。「ちょっと待ってね」に対して、「すぐ来ますから」など利用者が待てる声掛けをプラスしている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全社的「虐待・不適切ケア・身体拘束防止の取組」のスケジュールにそって事業所内で研修を行い、身体拘束防止委員会を立上げ、不適切ケア・身体拘束虐待チェックシートを基に現場での状況を把握、場合によっては面談を行い虐待へ繋がる前の段階での対応を行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	1名の入居者様が成年後見制度を利用されています。事業所・エリア内研修形態のに参加をして、権利擁護に関する制度を理解を深めている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時にご家族様と重要事項説明書・契約書の読み合わせを行い都度不明点確認を理解・納得をして頂いた上で、契約をしていただいています。改定などの説明、疑問を抱かれている家族様へは、個別に説明をして理解をして頂いています。又、運営推進会議などでも報告・説明を行っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	定期的にご家族様へのアンケートを実施、その結果を公表し改善計画を立て実施している。運営推進会議や日々の面会時、ご要望や意見がないか職員より聞き取りを行い、ご意見等があった場合はご意見を取り入れ運営に反映させている。	コロナ禍、利用者の暮らし方を知りたいとの家族の要望を受け、動画やズーム面会で機会を設け反映させている。イベント（文化祭・運動会・夏祭り・クリスマス会）開催時の利用者の様子を知らせることで家族との信頼関係、安心感を築いている。	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に一度、職員アンケートを行い職員満足度調査を行っている。この中で、意見等があった場合は改善策を立て実施、また、職員会議や全体会議などで、職員のホーム運営に関する意見を聞く機会を設けている。さらに個人面談を最低年4回、個々の意見を聞く機会を設け運営に反映させている。	業務改善や仕事の効率化などの提案を聞く機会が多く設けられ、業務に反映している。提案の一つ、夜勤者の仕事朝の職員に持ち越されないよう、プラスアルファの思いやりを持って協力し、働きやすいチームとして機能する態勢に反映されている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談を通じて各々の目標・やりたいことを確認し支援できるように努めている。個々の努力や能力に合わせ資格取得の支援やキャリアパスでの昇進ができるよう支援している。また、仕事へのやりがいを持てるよう利用者担当、行事担当を決め向上心を持てるよう支援している。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の個々のスキルや役割に応じて、社内研修が毎月行われている。資格取得のための研修や入職時の理念研修など個々のスキルアップのために開催され、受講可能なように勤務の調整を行い参加してもらっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	岡山県から熊本県に同法人の事業所が10か所あり、リモートを使つての年間行事や研修などを通してネットワーク作りを行っている。季節の行事(運動会や文化祭など)も各ホームをzoomで繋いで県を跨いでの交流を行っている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にアセスメントに行かせて頂きご本人様とお話をさせていただき、ご本人様・ご家族様の困っていることや、不安に思うこと要望などをお聞きし説明を行っている。、ホーム見学や本人様との面談を重ね信頼関係の構築に努め安心を確保するための関係作りに努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ホーム見学時からご家族の困っていること、不安なこと、要望などをお聞きして、ホームとしてできること、出来ないことの説明を行い、十分に納得していただくことで、ご家族の不安の解消に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様との面談を行い必要とされている支援を見極め、本人様にとって最良と思われる支援を第一に考え他サービス利用の紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の尊厳を第一に考え、今までに培われた力を発揮していただけるよう、ご本人様と話しをしながらいろいろな提案を行い、毎日の生活の中で入居者様と職員が共に支え合い暮らしていける関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様のホームでの生活状況や、本人様の要望、思いを随時ご家族様へ報告し、共に考え、本人様にとって最良の提案をしていくよう努めている。誕生日会にはご本人、職員と一緒に祝いをしている。コロナ収束後は、家族会を開き、季節のイベントには一緒に参加していただけるような取り組みを行っていききたい。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居後も馴染みの人との関係が途切れないよう、時にはご家族様の協力も得ながら、ご親族やご友人に気軽に訪問して頂けるよう働きかけを行っている。Zoomを使つての面会を行うことで遠方の兄妹、親戚と繋がる事が出来ている。	家族との関係継続は、コロナ禍の感染予防からZoom使用で対応支援が行われている。仏壇でお参り、お墓参りなど馴染みの人や場所の動画が家族から送信され、スマホで共有して、利用者もその場で一緒にお参りができる支援、取り組みが行われている。	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う方同士お話しできるよう、座席の配慮や活動の支援、必要に応じて職員が介入し、関わり合えるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	開設よりこれまで退居者はおられません。ご退居があった場合は、退居後もご本人様、ご家族様のへの支援を行う予定としている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様、ご家族のご要望・ご意向を伺いケアプランに反映している。意思表示できない方については、ご家族からの情報をもとに表情や言動より意向や希望を把握し、ケアプランに反映している。	利用者の思いは日々の生活の中で把握し職員間で共有している。入浴時などに吐露される希望や意向など聞き逃さず、ケアに活かすよう努めている。利用者の楽しみ、やりがい、家族の思いや認知症の周辺症状を理解するためにも生活歴や職歴などから把握し、利用者本位のケアに取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人様より聞き取りを行いアセスメント、バックグラウンドを作成、また、入居前のケアマネさんより基本情報等でこれまでの暮らしや、馴染みの物、習慣など把握に努めている。入居後の新たな情報収集も記録し、支援に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル・食事・排泄・水分量など個人記録へ記入、心身の状態等も変化があれば、個人記録・日誌・ケアプラン実施表に記入し、全員が共有できるようにしている。また、毎日朝夕、申し送りを行い、些細な変化にも情報共有を行い、一人ひとりの現状の把握に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b>  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人様がより良く暮らせるために、本人様の希望、ご家族様の希望を踏まえ、主治医や看護師からの助言や指示などをもとにユニット会議やカンファレンスで話し合いを行い、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画更新月の前に看護師、医師からアドバイスや助言をもらい、利用者、担当職員、家族、ケアマネジャーの思いをたたき台とし、さらに作業療法士などにも相談しながら暫定プランを立て、会議で検討して介護計画を作成している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b>  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録は個人別に処遇記録、日報に記載し、職員間で情報を共有している。また、日々のケアから気づきや工夫などの意見を取り入れ実践に活かしている。ユニット会議では介護計画の実施記録を確認し、必要に応じ、介護計画の見直しも行っている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b>  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族の状況やその時々ニーズに応じ、職員の豊富な経験などから、事業所として一人ひとりに応じて既存のサービスに捉われず、柔軟な支援の提供に取り組んでいる。		
29		<b>○地域資源との協働</b>  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍外出の頻度は減っているが、近隣のスーパーや事業所のすぐ前にあるコンビニに防疫対策を行ったうえで、お買い物に行っている。入所前から食べていたパンを予約して購入していただくなど、自宅に住まわれていた時の生活習慣を大切に支援させていただいている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b>  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ホーム主治医の訪問診療を2週間に一度受診できます。また、急変時及び緊急時にも適切な医療を提供できる体制があります。また協力歯科医も一週間に一度訪問され希望に応じて受診できます。病院受診になった際には、ご家族様の希望される病院への受診の支援を行っている。個別マッサージのご案内もしている。	利用者、家族の希望するかかりつけ医への継続受診ができるよう支援している。コロナ禍においては、医療機関での受診時に利用者と家族との適切な距離間隔を保つよう配慮し、職員が家族と一緒に同行し支援している。	

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと連携して利用者様の日常の健康管理を行っている。また、毎朝、主治医に利用者様の状態連絡票（通常のバイタル、特記事項を記入）をFAX連絡している。また、24時間オンコール体制を取り、主治医の指示のもと、適切な医療を受けられる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日常的に病院関係者と面談する機会を持ち、利用者様が入院した際には安心して治療が受けられるよう関係を構築している。また、退院後も安心して生活していただけるよう、退院時のカンファレンス参加させていただき、病院関係者やご家族様の意見をお聞きしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に、重度化した場合や終末期の在り方について、本人様、ご家族様の意向を聞き取りしている。また、本人様に終末期が近づいた時には、本人、家族、主治医及び各関係者や職員としっかりと話し合い、事業所でできることを十分に説明を行いながら、方針を共有し、各関係者とチームで支援に取り組んでいる。	事業所の年間研修で事前学習を行い重度化、終末期に向けた対応に備えている。家族には利用時に終末期の方針を説明し、できること、できないことの確認を行っている。利用者から終末期のあり方を聞き取ることもあるが、家族と話し合い、方針を共有し職員全員で支援に取り組む努力をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故救急対応マニュアルを作成し、応急手当・初期対応の勉強会を研修時や消防訓練時に取り入れ、実践力が身に付くように努めている。まだ経験の浅い職員には、基礎知識や対応について、随時、口頭で指示するなどの対応を行い、全職員に実践力が身に付くよう指導を行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防訓練を実施しており、あらゆる災害を想定した避難訓練を行っている。マニュアル・緊急連絡網を各ユニットに設置し、消防訓練の報告は家族様へのお便りや運営推進会議でお伝えしている。	火災に対しては、新入職員にも消火器、スプリンクラーの使い方などの実践研修が行われている。水害、地震災害に備え、簡易トイレも含め、備蓄も30人、3日分を確保している。日ごろから利用者が避難できる対策を職員全員で考え、シュミレーションを行い取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目（ ユニット 虹 ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的にプライバシー保護研修を実施している。この他、人格を尊重したケアの徹底などOJT、OFFJTの中で職員の意識を高め、常に一人ひとりの人格の尊重、誇りやプライバシーの確保を意識し、尊厳を持った対応を行っている。	目線を合わせて話すなどユマニチュードのケアを取り入れ、人格を尊重する言葉遣いで対応している。プライバシーを守る意味で、スタッフは利用者の許可を得て室内に入るようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	思いやりのある声かけやケアに心掛け、信頼していただくことで、思いや希望を表しやすい環境をつくるように努めている。また、本人様の選択の権利を大切にし、ご自身で自己決定ができるよう支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にし、その方がその日をどう過ごしたいか、入居者様の自主性を尊重し、出来る限りその方の希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人の希望に合わせ、月1度から2ヶ月に一度訪問美容でカラーやカットなどおしゃれを楽しんでいただいています。行事・外出などTPOに合わせ、ご自分で好みの服を選んでいただくなどの支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	朝食は一週間に二日、パン食など好みのものを召し上がっていただけるよう対応している。食べたい物の希望を伺い、食事やおやつなどご利用者と職員と一緒に作ったり、月に一度行事食としてご利用者様の希望をお聞きして、近所の鮮魚店で新鮮なお刺身を注文し“食で笑顔になる！”をモットーに提供している。	職員が見守りながら、利用者が天ぷらを揚げ、みんなでそれを食べるなど、一人ひとりの能力を活かす支援をしている。魚が嫌いな利用者に代替で肉を提供するだけでなく、魚の天ぷらなら食べられることを聞き出すなど、一人ひとりに配慮した、笑顔のある食事風景となるよう努力をしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事・水分量はチェック表において把握し1日の必要量が確保できるように支援している。食事に関しては、管理栄養士によるメニューを基本に提供、また、楽しんで水分摂取ができるようコーヒー・紅茶・ココアなどの提供を行ったり、栄養状態が低下している方には主治医と相談し栄養補助飲料を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、自立度に応じた仕上げの介助や義歯洗浄をおこなっている。必要時や希望の方には、週1回歯科診療・歯科衛生士による口腔ケアを受けていただくなどの支援しており、誤嚥予防に口腔体操にも力を入れている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を利用しお一人おひとりの排泄パターンを把握、パットの使用量軽減に努めている。また尿意を大切に排泄動作など、できる事は、ご自分で行って頂くことを基本ケアとし、自立に向けた支援を行っている。	リハビリパンツから布パンツに改善された男性の利用者が現在3名いる。最後まで自然排泄を目指して、自立支援を行っている。尿量とパットの大小を試行錯誤しながら、おむつの軽減にも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事では、野菜を多く、栄養バランスを考えながら、食物繊維が取れるメニューを提供したり、体操や散歩など無理せず体を動かせるように支援を行い、食事・水分量の把握をし予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	個々の体調や希望に応じ、気持ちよく入浴して頂けるよう努めている。また、今までの生活習慣を大切にし、夕食後に入浴を希望される方にも対応して、できる限り一人ひとりの希望に沿った支援をしている。	シャワーにしたり、湯に浸かったりとその日の要望に合わせて入浴を楽しめる支援をしている。一人ずつ新しい湯に替えるなど、清潔に配慮している。入浴拒否の利用者には、拒否の理由を人生丸ごと理解する姿勢で、声掛けを度々変えるなど丁寧な対応で、入浴に結びつくよう支援している。	

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	個々の生活パターンに合わせ昼 間にも居室で休めるなどの支援 を行っている。また、安心して 眠れるように居室の環境づくり や就寝前に会話を行うなどの 支援を行ったり、今までの生活 習慣を継続し、晩酌を提供など、 安眠できるような支援を行って いる。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬については、薬処方一覧表 を用い服薬マニュアルに沿って 服用して頂いている。また、一 人ひとりが服用されている薬や 効能、それに伴う副作用を薬情 ファイルにて確認・理解し症状 に変化があれば主治医へ報告・ 相談している。処方変更時には 様子観察を行い記録に残し、情 報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	今までの生活で培われた家事や 得意な事を活かしていただき家 事の分担などを行っている。気 分転換にドライブや好きなアイ スクリームを食べに出かけたり 晩酌などを楽しみ、笑顔になっ て頂けるよう支援している。2 月より裏庭に広い畑を作り、野 菜作りにも力を入れている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	一人ひとりの希望に合わせて散 歩や近所のコンビニに買い物の 支援を行っている。最近ではマ クドナルドのドライブスルーに出 かけ、ソフトクリームやコーヒー を飲むなどして気分転換を図っ ている。コロナの防疫対策を行 いながら、朝一番にホームセン ターに出かけ、一緒に花や野菜 の苗を買いに出かけている。	毎朝、近くの神社に散歩に行き 、ごみを拾ったり、草むしりを している。地域の人から感謝さ れ利用者の励みになり、散歩は 自立支援の一助になるほか地域 交流にも貢献している。時には 買い物かごを持って菓子パンな どを近くのコンビニやドライブ スルーに買いに行く楽しみの外 出支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	ご本人が欲しいものは、購入す ることが可能のように買い物の 支援している。財布の所持はさ れているが全員ではなく、ホー ムの立替金で買い物をしただ けにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 虹 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人より希望があったときには、ご家族やご友人に電話をしていただけるよう対応している。ご家族様の大切な日などには、職員から電話をかけることを勧めるなどの対応を行っている。ご家族様によってはお手紙を書いて下さりご本人様に手渡し読み上げの支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには季節を感じていただける様花瓶に花を生け、壁には季節の飾り物をしています。フロアの中央には皆さんがゆったりと過ごしていただける空間があり、歌番組や野球観戦をしながら談話するスペースがあります。キッチン、ご利用者の皆さんと料理が作れるよう整備されており、調理を始め食後の食器洗いや片づけを職員と一緒に行っていただいている。	共用空間は温度、湿度など空調が自動調整され快適に過ごせるよう配慮されている。明るい空間の中央には3人掛け、4人掛けのソファがおかれ、テレビを見たり、ベランダにある利用者が丹精込めた盆栽を眺めたりして豊かな時間を過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間では、気の合ったご利用者様同士で楽しくお喋りができたり、ひとりで読書をして過ごせるように、ソファの位置や座席の配置など配慮しています。また、テラスや庭でも思い思いに過ごせるよう環境の整備を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室入口には表札を掛け、居室内には使い慣れ親しんだ家具や馴染みの物を設置するなど、本人様のこれまでの生活習慣を大切に、居心地良く安心して過ごせるよう環境を整えている。	持参した鏡台、仏壇、テレビ、ラジオ、タンス、ソファなど馴染みのものを動線を考慮して配置し、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。家で使用していた運動器具でトレーニングを行う利用者には、見守りながら今までの暮らしを継続し、生活環境の質向上の配慮もしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内はバリアフリーで移動がしやすく、廊下には手すりを設置、車椅子も入るトイレにはマークを貼付する等、誰もが安全に自立した生活ができるよう配慮している。また、一人ひとりの自立度に変化に応じ、その都度話し合いを行い、環境を整備している。		

V アウトカム項目( 虹ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項 目(   ユニット   輝           )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の(   )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I   理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人の理念・事業所の目標を事務所に掲示し、日々のケア・支援実践に繋げ毎朝の朝礼で唱和を行い、全職員で共有、各職員が理念を達成できるよう実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	10月より対面での運営推進会議を再開。ご訪問のされた地域の民生委員方々や運営推進会議への参加者へ、認知症指導者研修を修了した副ホーム長によるプチ講座を実施して地域の方々の認知症への理解を深める取り組みをいたします。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議などで、認知症介護指導者研修を受講した職員が、認知症について地域の方たちにわかりやすく講座を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍、運営推進会議にて行われていた事業所での取り組みの報告は、書面にてご報告させていただき郵送、電話にてご意見をいただきサービスの向上につなげていきたい。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	コロナ禍、6月8月の運営推進会議は書面での報告でしたが、議事録を作成してホームの毎月のお便りと一緒に提出いたしました。また、相談や質問があると電話か直接出向いていき担当者と話をするなど、良好な関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的な研修を行っており、身体的な拘束だけでなく言葉や薬なども拘束にあたることを日々話し合っています。又、不適切なケアについても注力しており随時研修・スタッフによるチェックシートでの確認等、定期的に行い身体拘束防止委員会を発足し、不適切ケア・身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全社的「虐待・不適切ケア・身体拘束防止の取組」のスケジュールにそって事業所内で研修を行い、身体拘束防止委員会を立上げ、不適切ケア・身体拘束虐待チェックシートを基に現場での状況を把握、場合によっては面談を行い虐待へ繋がる前の段階での対応を行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	1名の入居者様が成年後見制度を利用されています。事業所・エリア内研修に参加をして、権利擁護に関する制度を理解を深めています。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時にご家族様と重要事項説明書・契約書の読み合わせを行い都度不明点確認を理解・納得をして頂いた上で、契約をしていただいています。改定などの説明、疑問を抱かれている家族様へは、個別に説明をして理解をして頂いています。又、運営推進会議などでも報告・説明を行っております。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	定期的にご家族様へのアンケートを実施、その結果を公表し改善計画を立て実施している。運営推進会議や日々の面会時、ご要望や意見がないか職員より聞き取りを行い、ご意見等があった場合はご意見を取り入れ運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年に一度、職員アンケートを行い職員満足度調査を行っている。この中で、意見等があった場合は改善策を立て実施、また、職員会議や全体会議などで、職員のホーム運営に関する意見を聞く機会を設けている。さらに個人面談を最低年4回、個々の意見を聞く機会を設け運営に反映させている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談を通じて各々の目標・やりたいことを確認し支援できるように努めている。個々の努力や能力に合わせ資格取得の支援やキャリアパスでの昇進ができるよう支援している。また、仕事へのやりがいを持てるよう利用者担当、行事担当を決め向上心を持てるよう支援している。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の個々のスキルや役割に応じて、社内研修が毎月行われている。資格取得のための研修や入職時の理念研修など個々のスキルアップのために開催され、受講可能なように勤務の調整を行い参加してもらっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	岡山県から熊本県に同法人の事業所が10か所あり、リモートを使つての年間行事や研修などを通してネットワーク作りを行っている。季節の行事(運動会や文化祭など)も各ホームをzoomで繋いで県を跨いでの交流を行っている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にアセスメントに行かせて頂きご本人様とお話をさせていただき、ご本人様・ご家族様の困っていることや、不安に思うこと要望などをお聞きし説明を行っている。、ホーム見学や本人様との面談を重ね信頼関係の構築に努め安心を確保するための関係作りに努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ホーム見学時からご家族の困っていること、不安なこと、要望などをお聞きして、ホームとしてできること、出来ないことの説明を行い、十分に納得していただくことで、ご家族の不安の解消に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様・ご家族様との面談を行い必要とされている支援を見極め、本人様にとって最良と思われる支援を第一に考え他サービス利用の紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の尊厳を一番に考えながら、本人様の出来ること、得意な事に着目して、実行していただけるようケアプランに入れさせていただいています。一緒に家事活動を行い地域の清掃活動にも参加いただいています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様のホームでの生活状況や、本人様の要望、思いを随時ご家族様へ報告し、共に考え、本人様にとって最良の提案をしていくよう努めています。誕生日会にはご本人、職員と一緒に祝いをしている。コロナ収束後は、家族会を開き、季節のイベントには一緒に参加していただけるような取り組みを行っていきたい。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居後も馴染みの人との関係が途切れないよう、時にはご家族様の協力も得ながら、ご親族やご友人に気軽に訪問して頂けるよう働きかけを行っている。Zoomを使つての面会を行うことで遠方の兄妹、親戚と繋がる事が出来ている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合うご利用者様同士が関わりを持ちやすいよう、好みの活動や場所の提供を行っている。居室に一人閉じこもることなく生活していただける様、職員が介入してドライブや地域清掃活動など屋外での活動にも力を入れている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	開設から1年の間に1名の方の退去がありました。入院先の相談員と連携をとりご家族様からの相談、フォローに努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様、ご家族のご要望・ご意向を伺いケアプランに反映している。意思表示できない方については、ご家族からの情報をもとにアセスメントを行いケアプランに落とし込んでいます。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ご本人様より聞き取りを行いアセスメント、バックグラウンドを作成している。日々の会話の中でのヒントをフロア全体に共有して、お一人おひとりの望む暮らしの追求を行っています。ケアプランに反映させて実行し評価している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル・食事・排泄・水分量など個人記録へ記入、心身の状態等も変化があれば、個人記録・日誌・ケアプラン実施表に記入し、全員が共有できるようにしている。また、毎日朝夕、申し送りを行い、些細な変化にも情報共有を行い、一人ひとりの現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b>  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人様がより良く暮らせるために、本人様の希望、ご家族様の希望を踏まえ、主治医や看護師からの助言や指示などをもとにユニット会議やカンファレンスで話し合いを行い、現状に即した介護計画を作成している。また、月に1度作業療法士による助言、評価をもらい、生活機能サービス計画書の作成、実行を行っています。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b>  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録は個人別に処遇記録、日報に記載し、職員間で情報を共有している。また、日々のケアから気づきや工夫などの意見を取り入れ実践に活かしている。ユニット会議では介護計画の実施記録を確認し、必要に応じ、介護計画の見直しも行っている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b>  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族の状況やその時々ニーズに応じ、職員の豊富な経験などから、事業所として一人ひとりに応じて既存のサービスに捉われず、柔軟な支援の提供に取り組んでいる。		
29		<b>○地域資源との協働</b>  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍外出の頻度は減っているが、近隣のスーパーや事業所のすぐ前にあるコンビニに防疫対策を行ったうえで、お買い物に行っている。入所前から食べていたパンを予約して購入していただくなど、自宅に住まわれていた時の生活習慣を大切に支援させていた。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b>  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ホーム主治医の訪問診療を2週間に一度受診できます。また、急変時及び緊急時にも適切な医療を提供できる体制があります。また協力歯科医も一週間に一度訪問され希望に応じて受診できます。病院受診になった際などは、ご家族様の希望される病院への受診の支援を行っています。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと連携して利用者様の日常の健康管理を行っている。また、毎朝、主治医に利用者様の状態連絡票（通常のバイタル、特記事項を記入）をFAX連絡している。また、24時間オンコール体制を取り、主治医の指示のもと、適切な医療を受けられる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日常的に病院関係者と面談する機会を持ち、利用者様が入院した際には安心して治療が受けられるよう関係を構築している。また、退院後も安心して生活していただけるよう、退院時のカンファレンス参加させていただき、病院関係者やご家族様の意見をお聞きしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に、重度化した場合や終末期の在り方について、本人様、ご家族様の意向を聞き取りしている。また、本人様に終末期が近づいた時には、本人、家族、主治医及び各関係者や職員としっかりと話し合い、事業所でできることを十分に説明を行いながら、方針を共有し、各関係者とチームで支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	事故救急対応マニュアルを作成し、応急手当・初期対応の勉強会を研修時や消防訓練時に取り入れ、実践力が身に付くように努めている。まだ経験の浅い職員には、基礎知識や対応について、随時、口頭で指示するなどの対応を行い、全職員に実践力が身に付くよう指導を行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回消防訓練を実施しており、あらゆる災害を想定した避難訓練を行っている。マニュアル・緊急連絡網を各ユニットに設置し、消防訓練の報告は家族様へのお便りや運営推進会議でお伝えしている。		

自己評価	外部評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	3か月に一度、不適切チェックシートを使い、定期的にプライバシー保護研修を実施している。この他、人格を尊重したケアの徹底などOJT、OFFJTの中で職員の意識を高め、常に一人ひとりの人格の尊重、誇りやプライバシーの確保を意識し対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	起床時の洋服選びや化粧など、自分らしく生活していただける様支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にして、本人様が望まれる活動を個別に提供しています。1階2階を分けるのではなく違う活動を行って、自由に参加していただいています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人の希望に合わせ、月1度から2ヶ月に一度訪問美容でカラーやカットなどおしゃれを楽しんでいただいています。行事・外出などTPOに合わせてご自分で洋服選びをしていただくなど、ケアプランに入れさせていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	“食で笑顔になる”をモットーにご利用者様にアンケートをとり、月に一度食事レクレーションを行っています。調理スタッフのやりがいにも繋がるよう、写真をブログにアップしてご家族様にも見ていただいています。盛り付け、片づけはご利用者様と一緒にを行っています。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	自立支援ケアを中心に行い、水分摂取、栄養改善、運動の3つの観点からご利用者のADLの向上を行い生活の質が上がるよう支援しています。3か月に1度の血液検査を行いエビデンスにもとづいた助言を専門家よりいただいています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、自立度に応じた仕上げの介助や義歯洗浄をおこなっている。必要時や希望の方には、週1回歯科診療・歯科衛生士による口腔ケアや嚥下体操を受けていただくなどの支援をしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を利用しお一人おひとりの排泄パターンを把握、パットの使用量軽減に努めている。自宅でリハビリパンツを使用していた方が、トイレのお声掛けや誘導で布パンツに戻ることも多くあり、月に一度のカンファレンスで評価をしている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	下剤の減薬に努めている。米飯に寒天を混ぜたり水分提供を積極的に行うなど便秘の予防に努めています。また個別に運動を行うなどひとり一人に応じた対応を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	個々の体調や希望に応じ、気持ちよく入浴して頂けるよう努めている。また、今までの生活習慣を大切にし、夕食後に入浴を希望される方にも対応して、できる限り一人ひとりの希望に沿った支援をしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	午前中は、ホーム裏の神社にお参りに 行き外で過ごすことで生活のリズ ムを整え、夜間の睡眠につながる よう支援している。安心して眠れ るような居室リビングなどの環 境つくりと今までの生活習慣を 守り、晩酌なども提供している。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬については、薬処方一覧表 を用い服薬マニュアルに沿って 服用して頂いている。また、一 人ひとりが服用されている薬や 効能、それに伴う副作用を薬情 ファイルにて確認・理解し症状 に変化があれば主治医へ報告・ 相談している。処方変更時には 様子観察を行い記録に残し、情 報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	今までの生活で培われた家事や 得意な事を活かしていただき家 事の分担などを行っている。気 分転換にドライブや好きなアイ スクリームを食べに出かけたり 晩酌などを楽しみ、笑顔になっ て頂けるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	一人ひとりの希望に合わせ散歩 や近所のコンビニに買い物の 支援を行っている。最近ではマ クドナルドのドライブスルーに出 かけ、ソフトクリームやコーヒ ーを飲むなどして気分転換を図 っている。海岸通りのドライブや 神社へお花見に出かけ気晴らし の支援も行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	ご本人が欲しいものは、購入す ることが可能なように買い物の 支援している。財布の所持はさ れているが全員ではなく、ホー ムの立替金で買い物をし ていただいている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( ユニット 輝 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族や本人様のご希望で、個々に携帯電話を持って自由に連絡を取ってもらっている。ZOOM面会を推奨しており、遠くに住まれて、会いに来れないご家族様にも喜ばれている。送られてきた手紙もお渡しするが、読み上げのサービスも行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各居室や廊下等に、行事・日常生活の様子など写真掲示し、ご入居者様やご家族様が楽しめる様、工夫しております。裏の畑や玄関先には季節の野菜・花を植え、ご利用者様と一緒に水遣り等しながら、季節感を感じる様にしております。土地柄寒暖の差がある為、ご利用者様の状況を把握しながら、空調調整を行っております。食卓にはお花を設置し、入居者様に喜んでいただいております。スタッフの行動がご利用者様の不快に繋がらない様、必要に応じスタッフには伝達しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間では、気の合ったご利用者様同士で楽しくお喋りができたり、ひとりで読書をして過ごせるように、ソファの位置や座席の配置など配慮しています。また、テラスや庭でも思い思いに過ごせるよう環境の整備を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室入り口には表札をかけています。入居時にはなるべく自宅で使用していた家具や道具を持参いただき、安心して生活していただける様に環境を整備しています。シャムプーやリンスなど備え付けの物もありますが、自宅で使い慣れた物を使用していただき、残りが少なくなれば買い物の支援も行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内はバリアフリーで移動がしやすく、廊下には手すりを設置、車椅子も入るトイレにはマークを貼付する等、誰もが安全に自立した生活ができるよう配慮している。また、一人ひとりの自立度に変化に応じ、その都度話し合いを行い、環境を整備している。		

V アウトカム項目( 輝ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム広島矢野西

作成日 令和4年9月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍で開設し、地域との関わりが薄い。地域活動にも積極的に参加出来ていない。	ご利用者様が地域の中で役割を見つけ、つながりながら生活していく。	公園、神社の清掃活動 園芸ボランティアに参加する。	6ヵ月
2	18				
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。